

日本語コミュニケーションⅡ

科目ナンバリング JLN-102
必修 2単位

中沢 紀子

1. 授業の概要(ねらい)

前期と同様、日本語とはどのような特徴を持つ言語なのか、そしてその奥にあるコミュニケーションとは何なのかを考えていく。また、後期は私たちを取り巻く社会と言葉の関係について観察していく。私たちはある特定の言葉を聞いただけで、その使用者の性別(男性か女性か)や出身地(関東出身か関西出身か)などがわかってしまうことがある(例:「あたし」「俺」「わし」)。私たちが使用している日本語は、地域差・世代差・性差など様々な社会的要素と大きく関係している。授業では、身近な日本語の諸問題を取り上げ、私たちを取り巻く社会と言葉の関係について観察していく。

2. 授業の到達目標

- ・日本語を客観的に考察することができる。
- ・日本語の一般的特徴を説明できる。

3. 成績評価の方法および基準

出席(40%)・テスト(50%)・授業で行う課題(10%)

4. 教科書・参考文献

教科書

授業ではプリントを配布する。

5. 準備学修の内容

授業では、レポートを課すことがある。準備学修では、その際に必要な言語事例をそろえておくことが求められる。この事例採取については、授業時に指示する。

6. その他履修上の注意事項

授業は基本的にLMSにて行うが、(辞書についてなど)学習内容によって対面での授業を行うことがある。対面で行う際は、LMSにて事前に対面で行う旨を告知する。授業内で感想・現在気になっている言葉などコメントを書いてもらうことがある。

また回によって、ペア・グループワークを行う。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
- 【第2回】 日本語の辞書
- 【第3回】 日本語の辞書
- 【第4回】 日本語の辞書
- 【第5回】 日本語の辞書
- 【第6回】 日本語コミュニケーション
- 【第7回】 日本語コミュニケーション
- 【第8回】 日本語コミュニケーション
- 【第9回】 日本語の文法
- 【第10回】 日本語の文法
- 【第11回】 日本語の文法
- 【第12回】 方言と新方言 日本語の地域差①
- 【第13回】 方言と新方言 日本語の地域差②
- 【第14回】 まとめ
- 【第15回】 まとめ